

カヌー世界選手権

「力出し切りたい」

田辺市長に 出場報告 秦、西山選手が抱負



世界選手権の抱負などを語る秦秀明選手(左)と西山史扇選手(中央)＝23日、田辺市役所で

カヌースプリント競技の日本代表として、7月の世界選手権に出場する田辺工業高校3年の秦秀明選手(17)＝白浜町富田＝と県カヌー協会の西山史扇選手(22)＝田辺市神子浜2丁目＝が23日、田辺市役所を訪れ、真砂充敏市長に出場を報告した。初の代表入りを決めた2人は「力を出し切りたい」と抱負を語った。

2人は3月に香川県坂出市であった選手選考会で上位入賞したことなどから代表入りした。世界選手権は7月17～20日にハンガリーであり、秦選手はジュニア代表として男子カヤック4人乗りの1000級に、西山選手は23歳以下(U-23)代表として女子カヤックシングルの200級、500級に出場する予定。

定。

真砂市長は2人に「どんな練習をしているのですか」「食事にも気を配るのですか」などと質問。「ハンガリーでは健康にも気を付けて頑張る」と激励した。

秦選手は「未熟な部分もあるが、自分の力を出し切り、チームの役に立ちたい」と決意を語り、西山選手は「気負わずに臨み、新たな目標を見つけられるような、今後につながる大会にしたい」と話した。

た。

ジュニアチームはこれまで2度、合宿をしていて、23歳以下チームは6月に予定している。ともに大会の約1週間前に現地へ向かうという。年齢制限のないA代表には、県教委職員の本直也選手(25)＝田辺市秋津町＝が選ばれている。A代表は8月にロシアである世界選手権や9月に韓国で開かれるアジア競技大会に出場する。

3世代すべての代表チームに田辺西牟婁地方の選手が選ばれていることになる。